

一般社団法人飯塚青年会議所 2026 年度 基本方針

まちづくり委員会

委員長:西岡輝

【事業計画】

- まちの魅力創新「かまの変」プロジェクト

【年間事業フレーム】

No.23

(理想像)

嘉麻市の方が地域の魅力を、誰かに伝えたいと心から想ってもらえる状態になることを目指します。

嘉麻市以外の方は、また訪れたい、関わりたい、誰かに伝えたいと感じてもらうことを目指します。

(調査・研究方針)

- 嘉麻市にどのような魅力があるかを知るために、地域住民・ステークホルダーの方にヒアリングを行います。
- 嘉麻市にどのような特産品があるかを知るために、経済・商工団体にヒアリングを行います。
- 嘉麻市の宿泊者数、観光入込客数の現状を知るために、行政・自治体にヒアリングを行います。
- 嘉麻市が行っている四季のイベントを知るために、経済・商工団体にヒアリングを行います。
- 特産品や自然体験事業等を活用して交流人口、関係人口創出に成功した事例を知るために、地域への新しい入り口二地域居住・関係人口ポータルサイトにてインターネット調査します。
- 過去のまちづくり事業における成功、失敗例を知るために、一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚 JC)関係者にヒアリングを行います。
- 人の心の移り変わりや、当事者意識を持つまでのスキームを知るために、教育・研究機関にヒアリングを行います。
- 地域内外へ嘉麻市の魅力認知度を知るために、行政・自治体に行政の SNS 発信効果の現状についてヒアリングを行います。
- 嘉麻市の魅力がどうしたら地域住民・ステークホルダーの方には再認識してもらい誰かに伝えたくなるか、嘉麻市以外の方はどのような魅力に触れると心から感動し、また訪れたい、関わりたい、誰かに伝えたいと感じてもらえるかについて 2026 年度基本方針審議可決後から事業前日までの間、地域住民・ステークホルダーの方と定期的に会議を行います。

【他事業計画】

- 7月例会アワーの企画・工夫を凝らした動員・実施
- 忘年会の企画・工夫を凝らした動員・実施
- 飯塚 JC 全体で取り組む会員拡大
- 飯塚 JC で支える山笠運営

【年間事業フレーム】

No.17

No.28

No.31

No.33

【委員会運営】

スローガン: 一人ひとりが主役、メンバー全員で未来へ挑戦！！

(委員会運営方針)

私は、飯塚 JC に入会して今年で 4 年目になり、2025 年度に副委員長という役をお預かりしました。役を受ける前の私は、当事者意識もなく、青年会議所の活動で社業にいかせる勉強もせず、メンバーにも想いやりのない行動をっていました。しかし、役を受けると逆の立場がわかり今までの私の行動は情けなく感じ何も成長できず過ごしていたのだと実感しました。

この経験を踏まえ、私の委員会を選んでくれたメンバーが成長の機会を得るために、以下の運営方針を掲げます。

- メンバー全員が役割を持って必要とされる人財へ成長できる委員会

メンバー全員に、役割分担をして当事者意識を持ってもらいます。(出欠確認、議事録作成、懇親会手配、欠席者のフォロー等)

- この委員会に入って社業にいかせる経験を積める委員会

委員会メンバーに、調査から同行してもらい背景、目的、手法を委員会メンバー全員で構築し事業構築の経験を積んでもらいます。それが、社業で新規事業を立ち上げる際にいきつくると考えています。

- 一人ひとりが想いやりをもてる人財になれる委員会

委員会メンバー同士でお願いごとをする際に、相手のことを想いやりお願いをすることで委員会メンバーが、人を巻き込み、行動を促す力を持つ人財に成長できると考えています。

この委員会運営を通じて、2027 年度に理事メンバーを目指す人財を育てます。

一般社団法人飯塚青年会議所

年間事業フレーム